

E015 逢ヶ浜の放射状節理(静岡県GEO DATA(9) : 地学散歩(88))

著者	増島 淳
雑誌名	静岡地学
巻	108
ページ	ii-ii
発行年	2013-11-22
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024599

E015 逢ヶ浜の放射状節理



国土地理院 1:25,000 神子元島

南伊豆町の青野川河口に広がる弓ヶ浜から東へ10分ほど逢ヶ浜（おうのはま）を歩くと、白浜層群に属す海底溶岩流（ハイアロクラスタイト）や水底土石流の凝灰角礫岩層を貫く岩脈（須崎安山岩類とされる）を観察できる。

貫入岩体の先端が球状であったためか、放射状に節理が発達している。仏像の「光背」の形をしているため、見学者はこれを背に記念写真を撮る。気軽に見学できるので「伊豆半島ジオパーク」の名

所の一つである。下田市爪木崎や伊東市城ヶ崎には美しい柱状節理が発達するが放射状節理は少ない。

（増島 淳）